

## 体験的に学ぶことにより培われる心の力 ～行事を通して育む力～

校長 根本愛子

澄み渡った秋晴れの青い空に届けとばかりに、校舎のあちらこちらから歌声が響いてきます。まもなく実施される「輝関祭」第1部の合唱コンクールに向けて頑張っている生徒たちの歌声です。

現在、各実行委員会と生徒会を中心に、年間の2つのビッグイベントである10月18日(金)の「輝関祭(文化祭)」と11月2日(土)の「体育祭」に向けて、生徒たちが、主体的に行事を創りあげているところです。その中で、様々なドラマが展開されます。仲間と励まし合い、支え合う姿が見られます。生徒たちは、行事を通して「人と関わることの大切さ」を学んでいきます。それは、「自立心」「自己抑制力」「責任感」「共生」「寛容」など「体験的に学ぶことにより培われる心の力」です。体験という、人の根本・根底で考え学ぶ(つくる・表現する)ということから得られる力です。その力は揺るぎない力となり、困難に直面したときに応用がきき、生きる力につながります。

このように、行事の「目的」は、自分の成長と集団の成長をもとにした、日常生活の向上です。取組の中には、順位がでるものもあり、喜びや悔しきで涙する場面もあることでしょう。しかしながら、たとえ、優勝ではなくても素晴らしい学びが残ります。行事が終わったあと、学級や実行委員会等の集団が、どう成長しているかが大切です。それが、さらに質の高い集団を創り上げ、プラスの連鎖を生み出します。

そんな気持ちで、ぜひ、令和6年度の輝関祭と体育祭を創り上げてほしいと思います。

保護者の皆様、地域の皆様も、これからの関城中学生の姿を楽しみに応援していただけたら幸いです。よろしく願いいたします。

### 今月の関中ワード

#### ○「実力の差は小さい！努力の差は大きい！！」

努力を続けていると、壁にぶつかることがあります。それを乗り越えたところに可能性が広がります。